

# 令和3年度事業報告

## I 法人本部・管理部

### 1 理事会・評議員会

第116回理事会は前年度(令和2年度)の事業報告、決算報告、役員および評議員候補者の推薦、定時評議員会の開催、評議員選任・解任委員の選任および同委員会の開催、大規模修繕工事の入札方法、東山田地域ケアプラザ・通所介護事業の休止などを承認した。令和3年6月24日に第2回評議員選任・解任委員会を開催し、評議員候補者が承認され、そのあとに開催した第5回定時評議員会では令和2年度決算、役員選任などが承認された。直後に開催した第117回理事会では定時評議員会において選任された役員により代表理事(理事長)を互選した。第118回理事会は令和3年度上半期事業報告、補正予算などを承認した。第119回理事会は令和4年度事業計画および収支予算、臨時手当の支給、諸規程の改訂を承認した。

[理事会]	第116回理事会(令和3年度第1回)	令和3年6月3日
	第117回理事会(令和3年度第2回)	令和3年6月24日
	第118回理事会(令和3年度第3回)	令和3年11月18日
	第119回理事会(令和3年度第4回)	令和4年3月17日
[評議員会]	第5回定時評議員会	令和3年6月24日
[その他]	第2回評議員選任・解任委員会	令和3年6月24日

### 2 運営概況

#### (1) 法人経営

政策立案ならびに運営方針を決定する部長会議、経営会議は概ね毎月3回定期的に開催した。課長級による運営会議は毎月1回開催した。法人の経営課題を検討する課長級による3つの委員会(福祉サービス検討委員会、研修委員会、人材開発委員会)を設置し、検討を経て報告書が提出された。

#### (2) 新型コロナウイルス対応

令和3年4月20日から3か月以上にわたる「まん延防止等重点措置」が横浜市に適用され、そのままの状況下で8月2日からは神奈川県に「緊急事態宣言」が発出され、オリンピック・パラリンピック開催中も含めて9月末まで緊急事態宣言が続いた。10月以降は一時的に沈静化したが、12月中旬からオミクロン変異ウイルスの感染が拡がり、年明け(令和4年)の1月から爆発的な感染拡大となった。1月21日から「まん延防止等重点措置」が神奈川県全域に適用され、適用期間延長を繰り返し年度末の3月21日をもって解除された。前年度(令和2年度)は利用者、職員に感染者(陽性者)はいなかったが、令和3年度は4月に南部方面のグループホーム担当職員、8月に生活介護事業所「リンク」や「ヘルパーセンターやまびこ」で支援員、北部方面のグループホーム利用者が陽性となり、行政の指示に基づき自宅療養した。しかし、1月からの感染爆発により利用者、職員(家族)も多数罹患し、こうしたなか「東やまたレジデンス」生活介護事業(通所)とグループホームを並行利用している利用者(男性・64歳)が感染に伴う肺炎により入院中の病院で死去した(2/25)。各事業所では基本的な感染防止対策(手洗い、消毒、うがい、換気、三密回避など)を徹底しながら、抗原検査用キットを配布して早期発見、早期対応に努めた。職員の時差通勤、テレワークなども2年を超えて継続した。感染者、濃厚接触者の基準が変わり、自宅療養期間も短縮されたため職員の柔軟な職場復帰をはかりながら福祉サービスを継続した。利用者および職員へのワクチン接種は5月から実施し、令和4年3月中に希望者全員への接種(3回接種)を終わった(一部は4月に接種)。

#### (3) 組織・人事労務等

夜間勤務部門の支援員の退職が多く、年間を通じて募集を行ったが十分な補充はできなかった。法定の職員配置基準はクリアしているが、厳しい職員配置状況が続いた。

次年度(令和4年度)の新卒定期採用者も4名と低調であった。「東山田地域ケアプラザ」通所介護事業の休止に伴う人事は職員の意向を尊重しながら必要な措置(退職、異動など)を講じた。支援員を対象に国の処遇改善臨時交付金を支給した。感染者および濃厚接触者への支援に従事した職員に法人独自の臨時危険手当を支給した。

#### (4) 収支状況

慢性的な赤字に陥っていた「東山田地域ケアプラザ」通所介護事業を上半期をもって休止したため、障害福祉事業の上半期実績と下半期の事業見通しを踏まえて収支予算を補正した。人件費の見積もり間違いによる支出増が明らかになったが、障害福祉事業の利用実績増や加算等による収入増加、「東山田地域ケアプラザ」の赤字拡大に歯止めをかけた結果、当初予算ではわずか160万円であった黒字が改善され約8,000万円に上方修正した。しかし、年明け後の新型コロナウイルスの感染爆発による通所事業所の相次ぐ休止によって支援報酬が落ち込んだ。福祉サービスを休止できない入所施設およびグループでは日中支援や夜間支援を継続するための人件費(手当を含む)が増えた。この結果、補正予算から後退し約1,900万円の黒字にとどまった。「東山田地域ケアプラザ」は通所介護事業を下半期から休止したが令和3年度の赤字は約1,900万円となった。財政効果が出るのは次年度以降となる見通しである。\*第2号議案にて説明

#### (5) 行政指導関係

法人本部の指導監査は新型コロナウイルス感染拡大防止のため二度(令和3年10月14日、令和4年3月3日)にわたって中止となった。この結果、2年連続、監査は行われなかった。ただし、監査に伴う事前提出資料をもとに監査課から法人運営に対する助言を受けることができた。

### 3 事業概況

#### (1) 事業関係

コロナ禍のなか障害福祉サービスの施設入所支援、生活介護、共同生活援助は通常どおりのサービスを提供した。日帰りや宿泊旅行等の余暇支援は前年度に引き続き中止し、買物や外食等の地域生活支援も必要最小限の支援にとどめた。ヘルパーセンターの外出系サービスは前年度から引き続き自粛した。相談支援および就労支援は感染防止策を講じながら通常どおりのサービスを行った。高齢者の地域福祉事業を展開する地域ケアプラザは訪問活動に制限をかけながら居宅介護支援事業、地域包括支援センターの予防・相談事業、生活支援体制整備事業は通常どおり実施した。地域活動交流事業のうち貸し館は利用人数を制限して提供し、自主事業は自粛した。生活介護事業所「リンク」は8月に支援員の陽性が判明、一日のみサービス提供を休止した。秋以降、感染は収束しかけたが、年明けから爆発的な感染拡大となり利用者および支援員に陽性者、濃厚接触者、家族が濃厚接触者になるなど感染が続出した。この結果、クラスターの認定を受けた「東やまた工房」をはじめ「リンク」「まるんワークス」「東やまたレジデンス(生活介護事業)」「YOU」「ポルト能見台」など通所事業所は軒並み一時的なサービスの休止を余儀なくされた。上記の通所サービスを利用しているグループホームでは通所事業所の支援員がバックアップに入り、グループホームの事業継続をはかった。「東山田地域ケアプラザ」の通所介護事業は赤字解消の見込みがないことから令和3年度上半期をもって事業を休止した。デイルームの活用をめぐる代替事業については横浜市と協議することとなった。

#### (2) 施設整備関係

「東やまたレジデンス」「東山田地域ケアプラザ」の給排水設備の大規模改修工事は入札を経て令和3年7月から開始し、「東やまたレジデンス」は年度末に終了した。あわせて実施した空調設備の改修工事は令和3年7月に終了した。「東山田地域ケアプラザ」の給排水設備の一部は次年度(令和4年度)施工となった。学齢後期発達相談室「くらす」は建物設備の老朽化のため代替物件を探していたが、令和4年度に横浜市経済局所轄の「ゆめおおおか」(港南区上大岡)に移転することになった。令和4年度に予定していた南部方面の地域支援部門(ヘルパーセンター、計画相談、グループホーム等)

の事業所開設は、職員の退職により人事計画が頓挫したため開所時期を延伸した。次年度(令和4年度)のグループホーム等の立ち上げは人材確保の見通しがたたないことから、新規事業の開設はしないと横浜市に回答した。

(3) 苦情解決事業

令和3年度は法人のすべての事業所および業務において苦情の申し出はなかった。しかし、「発達障害者支援センター」所管事業である地域支援マネージャーが事業所コンサルテーションの際に使用許可がない画像を使用した、との匿名の指摘が横浜市に寄せられる事案が発生した(令和3年12月)。調査の結果、指摘内容について事実確認はできなかった。

(4) 虐待事案

南部方面グループホーム利用者の送迎時に支援員による暴力行為(殴打)を目撃した、との通報が複合福祉施設の利用者家族から「ポルト能見台」にあった(令和4年2月)。横浜市虐待通報センターへ報告するとともに、管理者による現場検証などを行った。目撃証言には誇張されているところがあると推測されたが、当該職員の事実確認において利用者には下車を促す際に肩や背中を叩いたことを認めた。このため、不適切な支援行為であるとして当該職員を戒告処分し、障害者の人権・権利擁護についてレクチャー方式で個別指導を行った。職員全体にも人権研修を実施した。

(5) その他

コロナ禍のなか情報通信設備を整備し、会議および研修事業はオンライン方式での開催を基本とした。

## 障害福祉部

### 施設支援1課

専任課長が「東やまた工房」「リンク」「まろん(YOU)」の3事業所を掌握し、各事業所には係長、主任等を配置して施設サービスを提供した。

#### 「東やまた工房」

##### 1 事業概況

生活介護(定員38名)、短期入所(定員1名)、日中一時支援(定員1名)を提供した。日中活動は受注作業を実施した。近隣のスポーツ会館の清掃ボランティア活動は継続した。余暇活動は中止した。利用者および職員が新型コロナウイルスに感染しクラスターと認定された。このため令和4年2月7日から2月18日までサービスを休止した。

##### 2 事業実績

###### (1) 生活介護事業(定員38名・現員39名)

###### ①利用者概況(令和4年3月31日現在)

###### (ア)障害支援区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	1	7	9	17
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	1	5	7	13
	女	0	0	0	0	0	2	2	4
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	1	1	2	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	3	13	18	34
	女	0	0	0	0	0	2	3	5

## (イ)年齢別状況

年齢	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男性	0	4	5	14	11	34	44歳 4か月
女性	0	0	1	2	2	5	47歳 2か月
計	0	4	6	16	13	39	44歳 4か月

## (ロ)利用期間状況

期間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～	15年～	計	平均期間
男性	0	1	1	2	10	20	34	18年 4か月
女性	0	0	0	1	2	2	5	17年 3か月
計	0	1	1	3	12	22	39	18年 2か月

## (ハ)長期入院等状況

状況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

## (ニ)通所方法状況

方法	人数
自力	7
保護者迎	5
送迎バス	4
その他	23
計	39

## (ホ)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	21	18	22	20	16	20	21	20	20	18	9	22
平均日数	18.9	16.2	20.5	18.8	14.6	18.5	19.2	18.7	18.8	16.3	6.9	19.7

## (ヘ)入退所 なし

## (2)短期入所事業(定数:1名)

## ①利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22	17	15	12	18	20	26	15	22	20	0	12	199

## ②障害支援区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	1	1	10	12
女性	0	0	0	0	0	0	0

## ③年齢別状況(実数)

年齢	～19	20～29	30～39	40～	合計
男性	0	5	1	6	12
女性	0	0	0	0	0

## (3)日中一時支援事業(定数:1名)利用者数1人 利用実績7日

## 3 支援および運営状況

## (1)日中支援

広報紙のポスティング、PCアダプタ清掃・梱包、電子部品組立、宅配食品の出前セット作り、ハードディスク解体などの受注作業を実施した。

## (2)生活支援

検温、マスク着用、手洗い、手指消毒など新型コロナウイルス感染予防を徹底した。買物や飲食等の外出支援は限定的に行った。健康診断、新型コロナウイルスのワクチン接種を実施した。

## (3)新型コロナウイルス感染状況

	1月	2月	3月
利用者	6	5	1
職員	2	4	1

## 「リンク」

## 1 事業概況

日中活動は受注活動を実施した。余暇活動は中止したが、個別利用者の外食支援は実施した。養護学校から実習生(1名)を受け入れた。年明けから利用者および支援員に新型コロナウイルス感染者が続出したため、令和4年2月7日から2月18日までサービスを休

止した。

## 2 事業実績

### (1) 生活介護事業(定員20名・現員21名)

#### ①利用者概況(令和4年3月31日現在)

##### (7)障害支援区分状況

障害支援区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	1	4	1	6
	女	0	0	0	0	1	0	0	1
療育手帳 B1	男	0	0	0	1	4	1	1	7
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	1	0	2	1	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (身体2級)	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	2	6	9	3	20
	女	0	0	0	0	1	0	0	1

##### (8)年齢別状況

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	0	0	3	10	7	20	48歳6か月
女性	0	0	1	0	0	1	38歳7か月
計	0	0	4	10	7	21	48歳0か月

##### (9)利用期間状況

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	2	0	18	0	0	20	8年 2か月
女	0	1	0	0	0	0	1	2年 4か月
計	0	3	0	18	0	0	21	7年10か月

##### (10)長期入院等状況

状 況	人 数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

##### (11)利用方法状況

自 力	12
保護者送迎	0
送迎バス	1
そ の 他	8
計	21

##### (12)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	21	18	22	22	16	20	21	20	20	18	9	22
平均日数	18.4	15.9	19.5	18.0	12.6	17.4	18.8	17.5	17.7	15.5	6.3	18.7

##### (13)入退所 なし

## 3 支援および運営状況

### (1)日中活動

フィルター加工、文房具類組立・包装、プラスチック製品シール貼り、建築資材組立、自動車部品組立、切手台紙貼り、ナフキンアイロンかけ等の受注作業を実施した。

### (2)生活支援

基本的な感染防止対策を徹底した。ガイドヘルパーと利用者への支援方法について密に連携した。健康診断、新型コロナウイルスのワクチン接種を実施した。

## (3) 新型コロナウイルス感染状況

	1月	2月	3月
利用者	6	5	1
職員	2	4	1

## 「まろんワークス(YOU)」

## 1 事業概況

日中活動は受注作業を継続した。従たる事業所「YOU」は4月から新規利用者(1名)を受け入れた。余暇支援は中止した。利用者が新型コロナウイルスに感染したため「まろんワークス」は令和4年2月7日から2月18日まで、「YOU」は令和4年3月7日から3月11日までサービスを休止した。

## 2 事業実績

## (1) 生活介護事業(定員24名・現員25名)

## ①利用者概況(令和4年3月31日現在)

## (ア)障害支援区分状況

障害支援区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	0	0	5	5
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	2	8	5	15
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
療育手帳 B1	男	0	0	0	1	0	0	1	2
	女	0	0	0	0	1	0	0	1
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	1	2	8	11	22
	女	0	0	0	0	1	1	1	3

## (イ)年齢別状況

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	0	4	6	6	6	22	41歳4か月
女性	0	0	0	1	2	3	51歳6か月
計	0	4	6	7	8	25	42歳7か月

## (ウ)利用期間状況

## 『まろんワークス』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	1	0	1	5	5	12	14年8か月
女	0	0	0	0	0	2	2	19年9か月
計	0	1	0	1	5	7	14	15年8か月

## 『YOU』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	1	0	0	0	3	6	10	15年5か月
女	0	0	0	0	0	1	1	20年8か月
計	1	0	0	0	3	7	11	16年0か月

## (エ)長期入院等状況

状 況	人 数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

## (オ)利用方法状況

自 力	12
保護者送迎	5
送迎バス	2
その他	6
計	25

(カ)利用日数状況

『まろんワークス』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	21	18	22	20	16	20	21	20	20	18	9	22
平均日数	18.7	16.4	19.9	18.3	13.4	18.2	18.9	18.1	18.3	16.4	6.6	20.1

『YOU』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	21	18	22	20	16	20	21	20	20	18	18	17
平均日数	18.8	15.5	20.4	18.5	13.2	18.7	19.5	17.4	18.5	15.6	15.3	13.5

(キ)入退所

「YOU」入所：20歳(男性) R3.4.1 中区 養護学校から(新卒)

「まろんワークス」退所：51歳(男性) R4.3.31 南区 他の事業所利用

(2)日中一時支援事業(定数：2名) 利用者数：1人 利用実績：55日

3 支援および運営状況

(1)日中活動

情報誌ポスティング、文房具組立・包装、切手台紙貼り、自動車部品パッキング、クリーンセンターの清掃を継続した。玩具の袋詰め等の新しい作業を受注した。

(2)生活支援

感染防止対策を徹底した。外食活動は控え、テイクアウトや出前を利用した。

(3)新型コロナウイルス感染状況

『まろんワークス』

	1月	2月	3月
利用者	6	5	1
職員	2	4	1

『YOU』

	1月	2月	3月
利用者	6	5	1
職員	2	4	1

施設支援 2課

「東やまたレジデンス」

1 事業概況

生活介護(定員50名)、施設入所支援(定員40名)、短期入所(定員4名)、日中一時支援(定員2名)を提供した。3係体制のもと日中支援部門と生活(夜間)支援部門が連携して支援を行った。新型コロナウイルスの感染予防に注力したが、利用者および職員に陽性者が発生した。生活介護事業は通所利用について断続的にサービスを休止した。入所支援事業は感染者と非感染者の活動および居住空間を分けて感染拡大を防ぎながら入所サービスを継続した。短期入所サービスも一時的にサービスを休止した。グループホームを生活の拠点としている通所サービス(生活介護)利用者が感染に伴う肺炎のため入院先の病院で死去した。見学や実習は優先順位をつけて受け入れた。

2 事業実績

(1)生活介護事業(定員50名・現員52名)

①利用者概況(令和4年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害程度区分	非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳A1	男	0	0	0	0	2	33	35
	女	0	0	0	0	0	5	5
療育手帳A2	男	0	0	0	0	3	4	7
	女	0	0	0	0	0	2	2
療育手帳B1	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0

療育手帳B2	男	0	0	0	0	0	0	1	2
	女	0	0	0	0	0	1	1	1
合 計	男	0	0	0	0	0	5	38	43
	女	0	0	0	0	0	1	8	9

(イ)年齢別状況

年 齢	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平 均
男性	0	2	2	27	12	43	46歳 7か月
女性	0	0	2	4	3	9	45歳 9か月
計	0	2	4	31	15	52	46歳 6か月

(ロ)利用期間状況

期 間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～15	15年～	計	平均期間
男性	0	0	0	3	4	36	43	22年 4か月
女性	0	1	0	1	4	3	9	15年 3か月
計	0	1	0	4	8	39	52	21年 2か月

(ハ)長期入院等状況

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

(ニ)通所方法状況

自 力	0
保護者迎	7
送迎バス	5
そ の 他	40
計	52

(ホ)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
平均日数	21	21	21	21	20	21	22	21	21	20	16	19

(ヘ)入退所

入所者：なし

退所者：64歳(男性) R4. 2. 25 都筑区 死去

②支援状況

受注作業、近隣のスポーツ会館での清掃活動を継続した。作業エリアの環境を見直し利用者が混乱しないレイアウトに整えた。中庭の運動スペースを利用した活動の種類を増やした。宿泊旅行は中止した。利用者が新型コロナウイルスに感染したため令和4年2月8日から2月18日まで、3月14日から3月24日まで生活介護事業のすべての作業エリアの使用を中止し、3月25日から3月31日までは一部の使用を中止した。

(2)施設入所支援(定員40名・現員40名)

①利用者概況(令和4年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害程度区分	非該当	1	2	3	4	5	6	合 計
療育手帳A1	男	0	0	0	0	2	21	23
	女	0	0	0	0	0	5	5
療育手帳A2	男	0	0	0	0	1	2	3
	女	0	0	0	0	1	3	5
療育手帳B1	男	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳B2	男	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	1	2
合 計	男	0	0	0	0	4	24	28
	女	0	0	0	0	1	9	12



## (イ)年齢別状況

年齢	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男性	0	1	0	18	9	28	47歳 7か
女性	0	0	3	6	3	12	45歳 4か
計	0	1	3	24	12	40	47歳 0か月

## (ロ)利用期間状況

期間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～15	15年～	計	平均期間
男性	0	1	1	4	0	22	28	21年 1か月
女性	0	3	2	0	1	6	12	15年 2か月
計	0	4	3	4	1	28	40	19年 3か月

## (ハ)長期入院等状況

状況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

## (ニ)入退所 なし

## ②短期入所事業(定数: 4名)

## (ア)利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
94	97	106	85	71	93	92	98	109	87	11	30	973

## (イ)障害程度区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	2	1	8	28	36
女	0	0	0	0	1	1	2

## (ロ)年齢別状況(実数)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	合計
男	0	13	13	10	36
女	0	0	1	1	2

## ③日中一時支援事業(定数: 2名) 利用者数: 3人 利用実績: 14.25日

## ④支援および運営状況

近隣の医療機関と連携して訪問診療を継続し、インフルエンザの予防接種は健康診断時に実施した。新型コロナウイルスのワクチン接種は嘱託医および近医の協力を得て実施した。余暇活動は感染予防策を講じながら可能な範囲で外出の機会を設けたが、宿泊旅行は中止した。

## 3 新型コロナウイルス感染状況

## 『生活介護事業・施設入所支援事業所』

	1月	2月	3月
利用者	0	2	11
職員	2	2	8

## 施設支援 3 課

## 「ポルト能見台(ナビス氷取沢)」

## 1 事業概況

生活介護事業(定員60名)、短期入所事業(定員1名)、日中一時支援事業(定員2名)を提供した。生活介護事業の利用者は64名であった。「ポルト能見台」は施設長(サービス管理責任者兼務)、係長、主任、看護師、管理栄養士、事務職を配置した。支援体制は2エリア(1エリア2グループ)に分け、各グループに支援員(正職員、パートタイム職員)を配置した。4月から新規利用者(1名)を受け入れた。家庭の都合により2名が退所した。「ナビス氷取沢」は主任、支援員(正職員、パートタイム職員)を配置した。新型コロナウイルス感染予防のため基本的な感染防止対策を徹底した。余暇活動は中止した。利用者が新型コロナウイルスに感染したため令和4年3月29日から3月31日まで「ポルト能見台」生活介

護事業のうち半分のエリアの利用者へのサービス提供を休止した。

## 2 事業実績

(1) 生活介護事業(定員60名・現員64名) ポルト能見台49名・ナビス氷取沢15名

①利用者概況(令和4年3月31日現在)

(ア)障害支援区分

『ポルト能見台』

障害支援区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A 1	男	0	0	0	1	2	2	16	21
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 A 2	男	0	0	0	0	3	8	13	24
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 B 1	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B 2	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	1	7	11	29	48
	女	0	0	0	0	0	0	1	1

『ナビス氷取沢』

障害支援区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A 1	男	0	0	0	0	0	3	1	4
	女	0	0	0	0	0	1	0	1
療育手帳 A 2	男	0	0	0	0	3	1	2	6
	女	0	0	0	0	0	1	0	1
療育手帳 B 1	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B 2	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	4	6	3	13
	女	0	0	0	0	0	2	0	2

(イ)年齢別状況

『ポルト能見台』

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	1	5	20	16	6	48	39歳 3か月
女性	0	0	1	0	0	1	32歳 4か月
計	1	5	21	16	6	49	35歳 8か月

『ナビス氷取沢』

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	0	7	4	2	0	13	29歳 8か月
女性	0	1	0	1	0	2	38歳 5か月
計	0	8	4	3	0	15	34歳 2か月

(ロ)利用期間状況

『ポルト能見台』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	1	1	1	4	7	34	38	15年 5か月
女	0	0	0	0	1	0	1	14年 0か月
計	1	1	1	4	8	34	39	14年10か月

『ナビス氷取沢』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	2	11	0	0	0	13	3年 9か月
女	0	0	2	0	0	0	2	3年 8か月
計	0	2	13	0	0	0	15	3年 9か月

(a)長期入院等

『ポルト能見台』

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

『ナビス氷取沢』

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(b)利用方法

『ポルト能見台』

自 力	9
保護者送迎	26
送迎バス	11
そ の 他	3
計	49

『ナビス氷取沢』

自 力	7
保護者送迎	7
送迎バス	0
そ の 他	1
計	15

(c)利用日数状況

『ポルト能見台』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	21	18	22	20	16	20	21	20	20	18	18	22
平均日数	19.5	16.7	20.3	18.6	14.4	18.4	18.6	18.7	18.8	16.7	16.7	19.1

『ナビス氷取沢』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	21	18	22	20	16	20	21	20	20	18	18	22
平均日数	20.3	16.5	20.3	18.4	14.1	17.9	19.4	18.2	18.4	16.5	16.7	20.6

(d)入退所

『ポルト能見台』 入所：18歳(男性) R3. 4. 1 金沢区 金沢養護学校から(新卒)

退所：36歳(男性) R3. 10. 12 磯子区 県外へ引っ越し

42歳(女性) R3. 11. 30 戸塚区 家庭都合

『ナビス氷取沢』 入退所者 なし

(2)短期入所事業 (定数：1名)

①利用状況 (宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
21	21	18	24	15	19	27	23	23	23	12	22	248日

②障害支援区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	1	4	13	18
女性	0	0	0	0	0	1	1

③年齢状況(実数)

年齢	～19	20～29	30～39	40～	計
男性	0	7	8	3	18
女性	0	0	1	0	1

(3)日中一時支援事業 (定数：2名) 利用者数：10人 利用実績：12.75日

3 支援および運営状況

(1)日中支援

利用者の特性に応じた作業環境や日課を提供し、受注作業を中心に自立的に活動ができるよう支援した。安定した通所や生活リズムを整えるため家庭や地域資源、医療機関と協力して支援を行った。作業は組立(自動車部品・電気スイッチ部品)、梱包(菓子等)を提供したがコロナ禍の影響で請負数が減少した。公園清掃は継続した。

## (2) 短期入所・日中一時支援サービス

サービス提供日以外の希望に対しては入所事業所の利用を勧奨した。短期入所利用は前年度より約1割増加し、定期利用も続いている。日中一時支援利用も前年度より約1割増加しており、定期利用も増えている。

## (3) 地域生活支援

「ハウスヒルサイド」「ハウスJOY」「ハウスノア」「ハウスオーク」の車輛送迎を行った。通所途上の付き添いや定期的な状況把握を行った。家庭生活や週末の過ごし方および通所に困難をきたしている利用者と家族に対して入所事業所の短期入所サービスおよび移動サービスの利用調整を行った。

## (4) 運営関係(教育・学生実習・啓発活動等)

日常業務における現任訓練、嘱託医や臨床心理士による専門研修、新任者研修、外部派遣研修を行った。専門研修、外部研修はオンライン方式が中心であった。特別支援学校高等部生徒(2名)、福祉系大学生(2名)の実習を行った。

## 共同生活援助事業(南部方面グループホーム(4か所))

### 1 事業概況

管理者、サービス管理責任者(係長兼務)、複数のグループホームを兼任する支援員、各グループホームの専任支援員(正職員、パートタイム職員)を配置し、4グループホームが連携する体制を構築した。日中活動は全員が「ポルト能見台」を利用した。

### 2 事業実績

#### (1) 利用者概況(令和3年3月31日現在)

事業所名	定数	障害支援区分						性別		年 齢			
		1	2	3	4	5	6	男	女	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
ヒルサイド	5	0	0	0	1	2	2	5	0	0	0	2	3
JOY	5	0	0	0	0	2	3	5	0	0	0	5	0
ノア	5	0	0	0	1	0	4	5	0	0	2	2	1
オーク	5	0	0	0	2	2	1	5	0	1	0	2	2
合 計	20	0	0	0	4	6	10	20		1	2	11	6

### 3 支援および運営状況

安心して健康的な暮らしを送れる生活環境づくりを目標に、新型コロナウイルス感染リスクを考慮してレストランの外出は中止、テイクアウトとした。日用品の買物は感染予防に配慮しながら継続し、週末の一時利用や週半ばの祭日利用にも対応した。保護者の高齢化に伴い週末利用に対処できるよう支援体制を強化した。

### 4 施設支援3 禍・新型コロナウイルス感染状況

#### 『ポルト能見台』

	1月	2月	3月
利用者	0	1	4
職員	0	1	1

#### 『ナビス氷取沢』

	1月	2月	3月
利用者	0	0	0
職員	0	0	0

#### 『グループホーム』

	1月	2月	3月
利用者	0	1	1
職員	0	0	1

## 地域支援課

### 「共同生活援助事業(北部方面グループホーム)」

#### 1 事業概況

3係制とし、12ホームに課長1名、係長3名、主任3名を配置した。週末利用の増加とパートタイム職員の欠員補充のため支援員を募集し、職員配置と勤務シフトの調整を行った。新型コロナウイルス感染予防のため活動時間の分散、換気や消毒等の基本的な対策を行った。密を回避するため研修や会議はオンライン方式で行った。

## 2 事業実績

### (1)利用者概況(令和4年3月31日現在)

事業所名	定数	障害支援区分						性別		年 齢				
		1	2	3	4	5	6	男	女	20歳～	30～	40～	50～	60～
ハウスBEE	5	0	0	0	1	1	3	5	0	0	0	1	3	1
ハウスSEA	4	0	0	0	1	3	0	4	0	0	0	1	3	0
ハウスDOUX	5	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	1	3	0
ハウスEEL	5	0	0	0	3	1	1	5	0	0	0	3	2	0
ハウスF	5	0	0	2	3	0	0	5	0	0	0	2	3	0
ハウスG	6	0	0	0	1	0	5	6	0	0	0	2	3	1
ハウス i	5	0	0	0	0	4	1	5	0	0	1	3	1	0
ハウスK	5	0	2	1	2	0	0	5	0	1	2	0	2	0
ハウスLm	5	0	0	0	0	2	3	5	0	0	0	2	3	0
ハウスMuu	5	0	0	0	0	3	2	5	0	0	3	1	1	0
ハウスP	5	0	0	0	0	2	3	5	0	1	1	1	2	0
ハウスQ	5	0	0	0	0	1	4	0	5	0	2	0	3	0
合 計	60	0	2	3	11	17	26	54	5	2	9	17	29	2

### 3 支援および運営状況

家族の加齢や家庭状況の変化により週末利用が増えたため職員配置を調整した。新型コロナウイルス感染予防ため外出活動の内容を調整し、旅行は中止した。令和4年2月に通所先の事業所においてクラスターが発生し、7ホームで陽性者および濃厚接触者が出たため医療機関および保健所と連携して陽性者と非陽性者の棲み分け(ゾーニング)、防護具使用、消毒の徹底などをして感染拡大防止に努めた。通所先が休止中は通所部門の支援員の応援を得ながら日中活動を実施して事業継続をはかった。「東やまたレジデンス」生活介護サービスの利用者が感染による肺炎により入院先で死亡した。

### 4 新型コロナウイルス感染状況

	1月	2月	3月
利用者	5	9	1
職員	1	3	1

## 「ヘルパーセンターやまびこ」

### 1 事業概況

管理者、サービス提供責任者(4名)、事務員、登録ヘルパーを配置した。介護給付事業として居宅介護、行動援護、重度訪問介護、地域生活支援事業として移動支援を実施した。

### 2 事業実績

#### (1)派遣件数(令和4年3月31日現在)

	移動支援	行動援護	居宅介護	重度訪問介護
登録ヘルパー	55名	42名	41名	4名
利用者数(のべ)	206名	348名	528名	21名
稼働件数	1,033件	1,079件	20,014件	108件
稼働時間	2,148時間	3,833時間	17,644時間	263時間

#### (2)研修事業

- ・知的障害者ガイドヘルパー養成研修 2回(受講者:27名)
- ・行動援護従業者養成研修 1回(受講者:19名)

### 3 サービス状況

移動支援、行動援護の稼働実績は前年度比で約2割増加した。ワクチン接種の影響で短時間の散歩を提供した結果、稼働件数はコロナ禍前に戻りつつあるが、1回当たりの稼働時間はコロナ禍前の半分以下にとどまった。居宅介護の稼働時間は前年比で微増した。週末の外出ニーズは低調であった。重度訪問介護は稼働実績、利用需要ともに横ばいであった。研修事業は南部方面のヘルパー確保を強化するため「ポルト能見台」で実習を行った。

#### 「計画相談事業」

##### 1 事業概要

管理者1名、相談支援専門員3名、補助職員1名を配置した。生活介護事業所および施設入所支援事業所の利用者の計画相談支援を行った。

##### 2 事業実績

登録者数：194名(新規：1名)  
サービス利用支援(計画作成)：159件(新規：1件)  
継続サービス利用支援(モニタリング)：237件  
その他(個別支援会議、面談等)：254件

##### 3 支援状況

支援支援(計画作成)、継続サービス利用支援(モニタリング)とともに基本相談として日常的な相談に応じた。緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の期間は面談や事業所訪問を控え、電話やメール等で聞き取りを行った。集団指導は昨年と同様にウェブ掲載資料を確認して電子申請システムに登録して参加した。各区の自立支援協議会もオンライン方式で参加した。

#### 相談支援部

##### 相談課

#### 「横浜市発達障害者支援センター」

##### 1 事業概況

センター長を含めて相談員8名と発達障害者地域支援マネジャー4名を配置し、相談支援、機関コンサルテーション、広報啓発、機関連携等を行った。年度当初の人事異動に伴いケースの引継ぎや複数名による相談対応など一人ひとりの相談者に対して時間をかけた対応を行った。前年度に引き続き新型コロナウイルス感染策の影響で自立支援協議会をはじめとする関係機関との連絡調整や研修の中止・延期、地域支援マネジャーの訪問予定のキャンセルが多かった。

##### 2 事業実績(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

###### (1) 相談支援

###### ① 相談件数

- ・実支援人数：287名(前年度348名)
  - 新規140名(前年度135名) 男性84名・女性56名 市内140名・市外0名
  - 継続147名(前年度213名)
- ・のべ件数 1,846件(前年度2,600件)
  - 相談：286人 1,528件 調整会議：48人 86件 (前年度2,089件)
  - 機関コンサル：232件 (前年度511件)
    - 内訳：区福祉保健センター20件 相談支援事業所119件 就労移行・就労継続事業所27件 その他福祉サービス事業所27件 医療機関8件 企業11件
    - その他20件
- ・年齢 中高生期3名 19～39歳212名 40歳以上71名 不明1名

## (2) 地域支援マネジャーによる事業所支援

知的障害を伴う自閉症や行動障害を持つ人の支援を行う事業所に対して発達障害者地域支援マネジャーが事業所コンサルテーション等を行った。

### ① 支援件数

- ・ 新規受付：17事業所(生活介護事業所9件、就労継続事業所2件、グループホーム2件、地域活動支援センター2件、その他2件)

### ・ のべ：713件

生活介護事業所254件、相談支援事業所88件、その他のサービス事業所268件(成人入所、グループホーム、地域活動支援センター、就労継続事業など)、障害児入所施設64件、その他39件

## (3) 機関連携・広報啓発

### ① 地域連携プログラム

昨年度まで特定相談として実施していた区の一次相談機関との連携について、今年度(令和3年度)から「地域連携プログラム」として新たに各区のニーズに合わせて柔軟な連携を行うことになった。しかし、コロナ対応による区役所業務の逼迫により下半期に予定されていた会議や研修の多くが中止や延期となった。

### ② 関係機関との連絡会議等への参加

件数：84件(各区3機関連絡会議36件、各区自立支援協議会24件、その他24件)

### ③ 研修・セミナー

- ・ センター主催または共催：7回(参加者262件名)

発達障害相談基礎研修：1回 66名

発達障害相談応用研修：1回 14名

強度行動障害者支援力向上研修(基礎)：4回 150名

第1回発達障害学生支援のための意見交換会：1回 32名

- ・ 講師依頼：34件 受講者数2,323名

- ・ 企業等への啓発(見学対応を含む)：45件 513名

### ④ 法人機関誌『マンスリーやまた』編集発行(年4回)

## 3 苦情解決事業

苦情の申し出はなかったが、「地域支援マネジャーが訪問した事業所で使用した画像に身内が写っていた」という匿名の投書が令和3年12月に横浜市にあった。当該職員に聞き取りを行うとともに、令和3年4月以降に訪問したすべての事業所への聞き取り調査を行った。しかし、指摘内容に当たる事実は確認できなかった。個人情報取り扱いについて疑いがもたれる言動をしないよう管理を徹底し、職員間での確認を行った。法人ホームページにも本事案の概要を速やかに掲載した。

## 横浜市学齢後期発達相談室「くらす」

### 1 事業概況

室長を含めて職員5名(社会福祉士、臨床心理士等)を配置して発達障害のある(疑いを含む)中高生の相談支援を行った。発達障害者支援センター事業および横浜市二次相談機関として教育分野を含む関係機関との連携に努めた。年度当初の人事異動に伴い、継続相談ケースの引継ぎを行うとともに新規ケースの受け入れを行った。新型コロナウイルス感染症の影響により新規相談、継続相談のキャンセルや日程変更が続出した。グループ活動や保護者勉強会は広い会場を確保したりオンライン方式などで対応した。令和4年1月と2月のグループ活動は学校の休校もあり中止した。

### 2 事業実績(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

#### (1) 相談支援

新規：90件 男64・女26 (前年度：81件 男56・女25)

継続：167件 男112・女55 (前年度：175件 男116・女59)

終結：93件 ＊年齢超過のため(前年度:18件)

①年齢構成 (実人数)

小学生	中1	中2	中3	高1	高2	高3	19歳以上	合計
1	29	40	41	46	41	30	29	257

②相談方法(のべ件数)

相談方法	件数
来所	1,394
訪問	57
電話(インテーク相談以降)	659
その他(報告書作成等)	9
合計	2,119

③相談対象者(のべ件数)

対象者	件数
本人	659
家族	1,017
教職員	156
関係機関職員	347

④相談内容(おもな相談内容を3項目までカウント)

相談内容	件数
家庭での対応	1,122
学校・通所先での対応	1,304
不適応行動への対応	80
対人関係	193
感情コントロール	103
医療機関利用	363
不登校・ひきこもり	54
進路	776
退院後の生活	3
制度資源利用	476
放課後・余暇の過ごし方	109
その他	75
合計	4,659

(2) グループ活動等

- ①中高生対象グループ活動：9回(のべ31名)
- ②保護者勉強会：3回(88名)

3 機関連携

- ①ケース会議：15回
- ②自立支援協議会・連絡会議等への参加：32件(うち教育関係15件)
- ③外部講師依頼：3件(うち教育関係1件)
- ④事業説明訪問・見学対応：4件(28名)

「横浜日吉就労支援センター」

1 事業概況

センター長を含めて6名を配置し、横浜市障害者就労支援センター事業として障害者本人、家族、関係機関、企業からの就労相談等を行った。コロナ禍の影響により定着支援は昨年続き職場訪問や対面での面談件数は減少したが、オンライン方式の面談を積極的に行った。新規就職件数は企業の採用活動が再開されたため例年の件数に戻りつつあった。

2 事業実績(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(1) 相談支援件数

①当事者支援(内容別)

	就職支援	職場定着支援	日常/社会生活支援	就業/生活支援	合計
登録	512	1,021	206	269	2,008
未登録	260	566	189	109	1,024

\*横浜市の1次相談支援機関として位置づいている就労支援センターでは手帳の有無、居住区、年齢、障害種別等を問わず、希望者の相談すべて受け付ける(未登録)。その後、センターの求職活動支援や定着支援等の支援内容について合意したうえで登録する流れになっている(登録)。



②当事者支援(手段別)

	来所相談	電話/Fax/Eメール	企業訪問	訪問(就労移行等)	カンファレンス	合計
登録	125	1,594	205	25	59	2,008
未登録	76	798	66	14	70	1,024

\*緊急事態宣言による自粛期間中、リモート面談は実績のうちでは電話・FAX・Eメールによる支援に含まれる。

③企業・その他支援(内容別)

	就職支援	職場定着支援	日常/社会生活支援	就業/生活支援	合計
企業	59	26	5	19	109
関係者	111	109	109	284	615

④企業・その他支援(手段別)

	来所相談	電話/Fax/Eメール	直接訪問等	合計
企業	0	35	7	42
関係者	24	202	28	254

(2)新規就職者数(1か月以上の雇用契約を締結したもの) 12名

①診断別

	身体障害	知的障害	精神障害	手帳なし	合計
企業	0	4	8	0	12
A型	0	0	0	0	0

\*新規就職者全員が昨年度から継続的に求職活動を行っており、企業の採用活動が再開されたのを機に就職が決まった者がほとんどである。求職活動から就職までにかかる期間が長期化する傾向がある。

(3)離職者数 6名

①診断別内訳

身体障害	知的障害	精神障害	手帳なし	合計
1	3	2	0	6

\*離職者6名は自己都合退職。いずれもコロナ禍とは関係がない。

(4)継続定着支援者数 168人(前年度末・159人)

「ワークアシスト」

1 事業概況

管理者、サービス管理責任者、就労支援員、職業指導員、生活指導員、就労定着支援員、訪問型職場適応援助者を配置し、就労移行支援事業、就労定着支援事業、職場適応援助者助成金事業(ジョブコーチ)を行った。新型コロナ感染の影響により2名の利用者が移行支援事業の標準的利用期間(2年)を延長した。

2 事業実績(令和3年4月～令和4年3月)

(1)就労移行支援事業(定員20名・利用者総数24名)

「ワークアシスト」作業エリアでの職業基礎訓練としてパソコン操作訓練や名刺の編集印刷模擬作業、PCアダプターの検品や商品発送、車の部品組立等の受注作業を実施した。社会生活技能の訓練として様々なテーマでグループセッションを実施した。職場体験プログラムとして法人の部署において実習を実施した。会社見学、職場実習、ハローワーク訪問など施設外での支援を実施した。新規利用者受け入れのため見学と体験実習を適宜受け入れた。大学関係者に向けて情報交換会を開催し、発達障害のある学生の就職活動状況や就労支援ニーズなどの聞き取りを行った。

①障害程度

障害程度	B1	B2	精1	精2	精3	なし	計
男性	0	6	0	4	7	1	18
女性	0	1	0	1	3	0	6
合計	0	7	0	5	10	1	24

②年齢

年齢	～19	20～	30～	40～	合計
男性	1	14	2	1	18
女性	0	3	2	1	6
合計	1	17	4	2	24

③入退所者

・新規入所者：5名(男性4名・女性1名) 退所者：11名(就職7名 進路変更4名)

④見学・体験実習

・見学83名 既卒31名、学生7名、家族23名、支援機関12名、企業10名  
 ・体験実習(各3日間)15名 既卒11名 学生4名

(2)就労定着支援事業(定員20名)

就職後6か月を経過し、就職後3年6か月までの就労者に対して職場訪問や定期面談、余暇活動支援を行った。

①利用者総数：23名(男性16名 女性7名) 定着率89.3%

②離職状況：1名

・女性(20歳代) 自己都合退職(福祉サービスを利用)

(3)職場適応援助者(ジョブコーチ)助成金事業

就職後6か月経過するまでの就職者に対して必要に応じて訪問型職場適応援助者助成金(ジョブコーチ)事業を活用して就職前後の雇用調整や職場適応援助を3名実施した。

「東山田地域ケアプラザ」

通所介護事業は上半期をもって休止した。デイルームの活用方法については横浜市と協議を継続した。受託事業(地域包括支援センター、地域活動交流事業、生活支援体制支援事業)は新型コロナウイルス感染予防のため自主事業の一部を中止したが、横浜市の通知により貸館事業は実施した。地域対象の研修会、介護保険事業所および医療機関との情報交換会等はオンライン方式で実施した。

1 通所介護・横浜市通所介護相当サービス(令和3年4月1日～9月30日)

①利用登録者：17名 男性4名 女性13名

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	0	1	3	7	2	2	2
比率(%)	0	5.8	17.6	41.2	11.8	11.8	11.8

②利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	総数	
稼働日数	22	21	22	22	23	22	132	
通所介護	延べ数	176	166	201	186	129	80	938
	平均	8.0	7.9	9.1	8.5	5.6	3.6	7.1
通所介護相当	延べ数	19	32	24	26	25	7	133
サービス	平均	0.9	1.5	1.1	1.2	1.1	0.3	1.0
1日平均		8.9	9.4	10.2	9.7	6.7	4.0	8.1

③利用終了者：17名 死亡：0 入院・入所：0 その他：17

2 居宅介護支援事業

①契約者数：162名(令和4年3月31日現在)

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	15	29	34	54	17	10	3
比率(%)	9.3	17.8	21.0	33.3	10.5	6.2	1.9

\*要支援1、2のプランは受託件数

②要介護認定調査実施件数：66件

3 介護予防支援事業(令和4年3月31日現在)

契約者数：163件(うち居宅委託分118件) 内訳：要支援1・43名 要支援2・120名

4 地域包括支援センター

①相談・訪問実績 相談件数：1,970件 訪問実績：342件

②相談内容内訳

内容	相談
介護保険	1,146
介護予防	66
行政サービス	17
インフォーマルサービス	60
入院・施設入所	108
その他の制度・サービス等	26
認知症	256
介護・医療(認知症以外)	263
高齢以外の分野	24
日常生活課題	395
消費者保護	2
成年後見制度	37
虐待	50
ケアマネ相談支援	176

③援助内容内訳

内容	相談
安否確認・状況把握	523
助言	409
介護保険・行政サービス申請受付	202
他機関との調整	970
情報提供(サービス・施設紹介等)	748
傾聴	108

④介護予防ケアマネジメント業務(R4.3/31)

契約者数：119件(うち居宅委託98件)  
内訳：要支援1・21名 要支援2・97名  
事業対象者1名

⑤介護予防普及強化事業

事業名(自主事業)	実施回数・参加者	目的および内容
尿もれ予防講座	1回 参加者45名	目的：介護予防 内容：民間企業による尿もれ対策講座
からだ相談会	1回 参加者19名	目的：介護予防 内容：骨に関する講座

⑥自主事業(介護予防事業)

事業名(自主事業)	実施回数・参加者	目的および内容
観音寺で脳とれ	1回 参加者30名	目的：介護予防 世代間交流 地域連携 内容：脳トレ・珈・座禅・子どもと一緒に昔遊び

⑦自主事業(包括的・継続的ケアマネジメント事業)

事業名	実施回数・参加者	目的および内容
ケアマネサロン	9回 参加者96名	目的：情報交換、ネットワークの構築 内容：勉強会含むサロンの開催
ケアマネ情報交換会	3回 参加者41名	目的：情報交換、ネットワークの構築 内容：勉強会含むサロンの開催

⑧自主事業(権利擁護事業)

事業名(自主事業)	実施回数・参加者	目的および内容
介護者のつどい 「ほっと茶屋」	7回 参加者44名	目的：介護者の仲間づくり、ストレス解消 内容：茶話会、介護に関するミニ講座
権利擁護講座	2回 参加者22名	目的：権利擁護 内容：行政書士によるエンディングノート講座 司法書士による成年後見制度の説明会

5 地域活動交流事業

①相談実績(令和4年3月31日現在)

合計21件 内訳：子育て関係2件 障害関係2件 その他17件

## ②子育て支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
あそびのおもちゃランド	9回 参加者133名	目的：未就学児と養育者の仲間づくり、情報提供 内容：ミニイベント、サロンの実施
ぴよんぴよんうさぎ	9回 参加者92名	目的：親子のスキンシップ、仲間づくり 内容：音楽家・幼稚園教諭によるリトミック
ぞうさんくらぶ	7回 参加者91名	目的：未就学児と養育者の仲間づくり、情報提供 内容：サロンの実施

## ③障害児者支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
アフリカダンスくらぶ	7回 参加者20名	目的：発達障害児の余暇支援、養育者の交流 内容：インストラクターによるアフリカダンス教室
すてきアート	4回 参加者48	目的：発達障害児の余暇支援、養育者の交流 内容：美術講師によるアート教室
おさんぽカフェin東山田	8回 参加者148名	目的：発達障害児者と地域住民の交流 内容：イベントとカフェ

## ④普及啓発・ボランティア活動支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
ケアプラギャラリー	常設(毎月更新)	目的：活動紹介と地域とのつながり作り 内容：個人やサークルの作品展示

## ⑤地域連携事業

事業名	実施回数・参加者	内 容
楽しいきりえ	4回 参加者35名	目的：顔の見える関係づくり、地域連携 内容：切り絵講座

## ⑥広報活動

- ・「けあぷら通信」 1回約2,250部発行〈4回〉 情報提供
- ・「けあぷら広報紙」 1回約2,250部発行〈12回〉 事業案内
- ・「事業案内」 1回約2,250部発行〈64事業〉 事業案内
- ・ホームページ 広報紙の他に自主事業の案内(毎月更新)

## 6 生活支援体制整備事業 自主事業

事業名	実施回数・参加者	内 容
からだ相談会	4回 参加者29名	目的：地域連携、総合相談受付、新しい活動構築 内容：地域の事業所と共催の相談会
介護予防ボランティア	2回 ボランティア5名	目的：地域連携、介護予防普及 内容：地域事業所と協力して介護予防講座実施
エリア連絡会	4回 参加者29名	目的：地域ケアシステムの構築 内容：学習会・意見交換会の実施

- 7 運営協議会 第1回(令和3年7月28日) 令和3年度事業計画など  
第2回(令和4年3月) 令和4年度事業報告 \*書面方式で開催